



©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



# 第40期 中間株主通信

2018年4月1日から2018年9月30日まで

(証券コード：9697)

株式会社カプコン



辻本 憲三



辻本 春弘

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

先の西日本豪雨や台風、地震などにより被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、ここに当社グループ第40期上期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における当業界は、国内市場が堅調に推移する状況のもと、世界の成長市場である中国において、今年3月以降に認可申請した新作ゲームの審査がすべて停止されるなど、ゲームの規制強化に対する戸惑いや懸念が広がりました。

このような環境下、当社は今年1月の発売から市場を席卷

した「モンスターハンター:ワールド」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)が続伸したことにより出荷本数が1,000万本を突破し、当社の単一タイトルとしては過去最高記録を更新しました。また、「東京ゲームショー2018」において、「バイオハザード RE:2」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)および「デビル メイ クライ 5」(Xbox One、プレイステーション 4、パソコン用)が来場者の大きな反響を呼び、旗艦タイトルの発売に向けて期待が膨らむとともに、同じく開催したeスポーツのイベント「CAPCOM Pro Tour (カプコンプロツアー) ジャパンプレミア」が観戦者の熱気に包まれるなど会場は盛り上がり、今後の事業展開に弾みがついてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は433億27百万円(前年同期比28.5%増)となりました。利益面につきましては、連結子会社の開発中止損を計上しましたものの、デジタルコンテンツ事業が好伸したことにより、営業利益105億8百万円(前年同期比110.1%増)、経常利益102億97百万円(前年同期比105.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益68億49百万円(前年同期比96.8%増)となりました。

なお、当社は今年8月に「JPX日経インデックス400」の定期入れ替えにより、同構成銘柄に採用されました。

また、中間配当金につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、家庭用ゲームにおいてキャラクターの自然な動きやリアルな描写を表現するため、

AI(人工知能)やVR(仮想現実)の導入に加え、高精細なグラフィックの活用など、ハイテク化の進展による変化の波が押し寄せております。

また、近年、脚光を浴びております国内のeスポーツ市場は、プロスポーツチームが参加するリーグの立ち上げや大手企業等がスポンサーになる動きが広がるなど、新たなビジネスモデルを求めて、業界の垣根を超えた異業種からの参入により活性化するとともに、現在の黎明期から勃興期を目指して地殻変動が起こりつつあります。

こうした情勢のもと、当社は持続的成長を推し進めるため国内外の多様な顧客ニーズに対応した訴求タイトルの開発、投入によりアドバンテージを築いてまいります。当社は、世界トップ水準のコンテンツを制作しており、これまで「ストリートファイター」や「バイオハザード」などがハリウッドで映画化されておりますが、これら海外における人気タイトルを駆使して、市場規模が大きく成長余力がある海外展開の拡大を図ってまいります。

このため、的確なマーケティング戦略や市場動向に対応したプロモーション活動に加え、開発プロセスの明確化や収益管理の強化に取り組むほか、開発人員の増強および開発環境の整備などにより開発期間の短縮や開発コストの低減を図るなど、コア・コンピタンス(中核的競争力)である開発体制の拡充に努めてまいります。

さらに、収益の向上や多角化を図るため、パッケージ販売に加え、好採算のダウンロード版の増大や当社の豊富なコンテンツ資産を活用したライセンスビジネスへの注力に

より商機の拡大に尽力するとともに、業務の効率化やコスト削減などの経営全般にわたる合理化を推進してまいります。加えて、経営効率を高めるため、成長分野や重点部門に経営資源を投入するほか、既存部門の強化や不採算部門の縮小、撤退を進めるなど、グループ全体のスクラップ・アンド・ビルドにより事業の再構築を行い、環境の変化に対応できる企業体質を築いてまいります。

また、近年は台風や地震など大規模な自然災害が全国各地で発生しておりますが、各種の非常事態が起きても重要業務への影響を最小限に抑えるとともに、早期復旧により事業活動が継続できるよう、危機管理体制の強化を推し進めてまいります。

下期は、主カタイトルの「バイオハザード RE:2」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)および「デビル メイ クライ 5」(Xbox One、プレイステーション 4、パソコン用)の発売により本格的な攻勢をかけてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

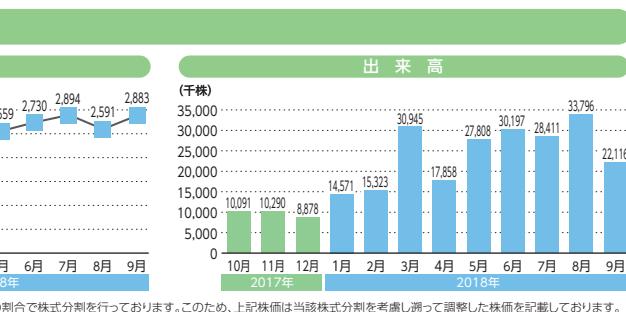
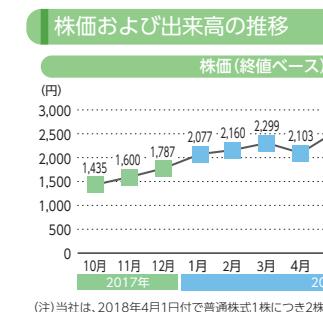
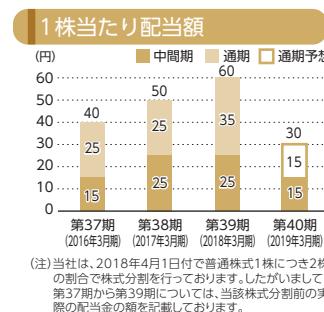
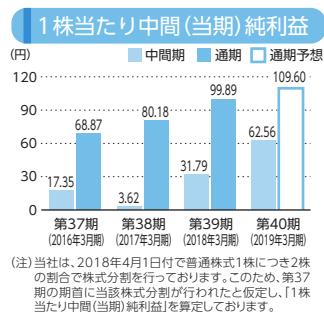
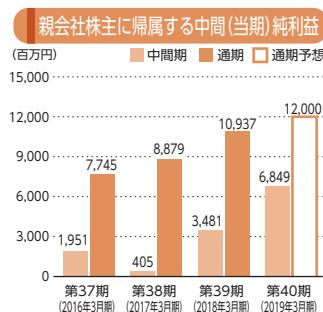
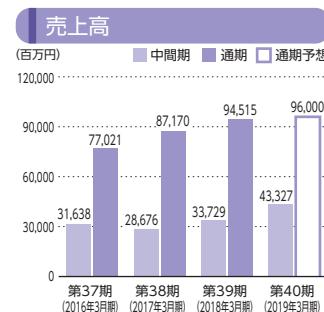
2018年11月

代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO)

辻本 憲三

代表取締役社長  
社長執行役員  
最高執行責任者(COO)

辻本 春弘



財務ハイライト  
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報  
会社データ

## デジタルコンテンツ事業

前期に大旋風を巻き起こした看板タイトル「モンスターハンター：ワールド」(プレイステーション 4、Xbox One用)がユーザー層の拡大により人気が続いたことに加え、今年8月に配信を開始したパソコン向けSteam(スチーム)版も好調に推移し利益を押し上げるとともに、同じく国外向けに投入した「モンスターハンターダブルクロス」(Nintendo Switch用)が安定した人気に支えられ底堅い売行きを示すなど、モンスターハンターシリーズが業績向上のけん引役を果たしました。

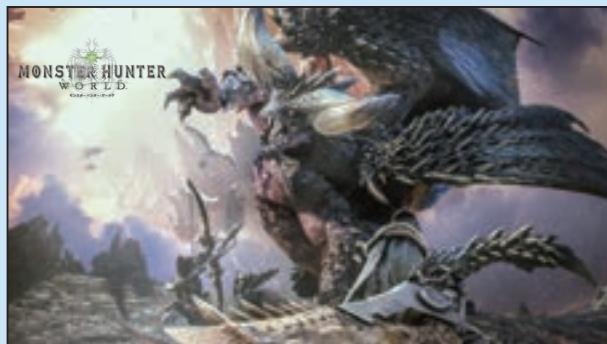
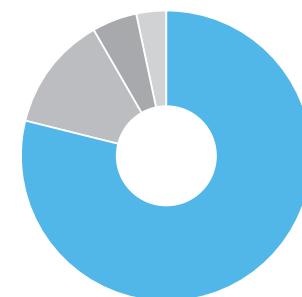
また、海外で発売した新作タイトル「ストリートファイター 30th アニバーサリーコレクション」(プレイステーション 4、Nintendo Switch、Xbox One、パソコン用)が健闘したほか、「ロックマンX アニバーサリー コレクション」、「ロックマンX アニバーサリー コレクション 2」および「ロックマンX アニバーサリー コレクション 1+2」(いずれもプレイステーション 4、Nintendo Switch、Xbox

One、パソコン用)も固定ファンや根強いブランド力により順調に推移いたしました。さらに、利益率が高いリピートタイトルが堅調に販売を伸ばし、収益向上に寄与いたしました。

この結果、売上高は341億95百万円(前年同期比69.8%増)、営業利益117億51百万円(前年同期比206.8%増)となりました。

### 売上高構成比

2018年  
9月期 **79.0%**



「モンスターハンター：ワールド」  
(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)



「モンスターハンターダブルクロス」  
(Nintendo Switch用)



「ストリートファイター 30th アニバーサリーコレクション」  
(プレイステーション 4、Nintendo Switch、  
Xbox One、パソコン用)



「ロックマンX アニバーサリー コレクション」  
(プレイステーション 4、Nintendo Switch、  
Xbox One、パソコン用)



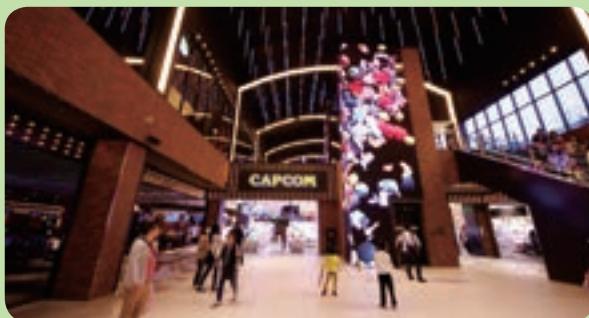
「ロックマンX アニバーサリー コレクション 2」  
(プレイステーション 4、Nintendo Switch、  
Xbox One、パソコン用)

## ● アミューズメント施設事業

記録的な猛暑による外出控えなど一過性要因の影響がありましたものの、身近な娯楽施設として多様な顧客に対応したゲーム機の設置やサービスデーの実施、各種イベントの開催等によりリピーターや中高年齢者、女性、親子連れなどの幅広い客層の取り込みに努めてまいりました。

当期間は、広島県に1店舗をオープンするとともに、茨城県の1店舗を閉鎖しましたので、施設数は36店舗となっております。

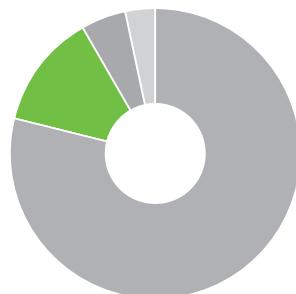
この結果、売上高は55億4百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益7億34百万円(前年同期比15.7%増)となりました。



【プラサカプコン広島店】

## 売上高構成比

2018年9月期 **12.7%**



## ● アミューズメント機器事業

パチスロ機部門は、市況軟化のもと「ストリートファイターV」や「ロックマンアビリティ」等を発売したものの、消費マインドの低下やホールオペレーターへの投資抑制などにより、伸び悩みました。

また、業務用機器部門につきましても商材不足により終始苦戦を強いられるなど、同事業は全体として軟調に推移いたしました。

この結果、売上高は22億24百万円(前年同期比69.7%減)、営業損失6億25百万円(前年同期は営業利益19億25百万円)となりました。



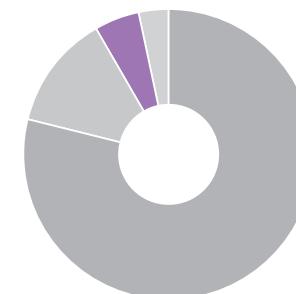
【ストリートファイターV】



【ロックマンアビリティ】

## 売上高構成比

2018年9月期 **5.1%**

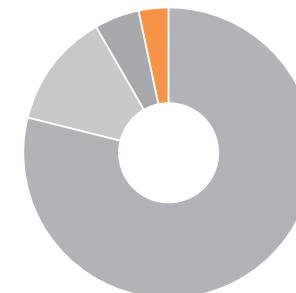


## ● その他事業

主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は14億3百万円(前年同期比29.9%増)、営業利益6億85百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

## 売上高構成比

2018年9月期 **3.2%**



©CAPCOM CO., LTD. 2018 ALL RIGHTS RESERVED.  
 ©CAPCOM CO., LTD. 2015, 2017 ALL RIGHTS RESERVED.  
 ©CAPCOM U.S.A., INC. 2018 ALL RIGHTS RESERVED.  
 ©CAPCOM CO., LTD., CAPCOM U.S.A., INC. ALL RIGHTS RESERVED.  
 ©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED. ©Spiky

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2017年9月30日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)	前期 (2018年3月31日現在)	科目	期別	前中間期 (2017年9月30日現在)	当中間期 (2018年9月30日現在)	前期 (2018年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>					<b>【負債の部】</b>				
流動資産		79,340	93,899	92,511	流動負債		20,572	20,005	26,271
現金および預金		23,088	49,963	46,539	支払手形および買掛金		2,277	2,348	2,625
受取手形および売掛金		11,156	9,176	12,930	電子記録債務		2,326	983	839
商品および製品		1,516	1,369	1,102	短期借入金		4,473	1,601	1,473
仕掛品		1,538	1,292	1,349	未払法人税等		1,427	2,059	4,453
原材料および貯蔵品		1,620	1,480	1,616	賞与引当金		792	1,444	2,866
ゲームソフト仕掛品		37,353	26,265	25,635	その他		9,275	11,567	14,011
その他		3,087	4,360	3,371	<b>固定負債</b>		<b>10,856</b>	<b>12,043</b>	<b>13,137</b>
貸倒引当金		△20	△7	△34	長期借入金		6,051	7,450	8,315
<b>固定資産</b>		<b>32,778</b>	<b>29,615</b>	<b>32,318</b>	退職給付に係る負債		2,712	2,941	2,819
<b>有形固定資産</b>		<b>21,232</b>	<b>19,854</b>	<b>20,797</b>	その他		2,092	1,651	2,003
建物および構築物(純額)		11,570	10,803	11,106	<b>負債合計</b>		<b>31,429</b>	<b>32,049</b>	<b>39,408</b>
その他(純額)		9,661	9,051	9,691	<b>【純資産の部】</b>				
<b>無形固定資産</b>		<b>1,893</b>	<b>639</b>	<b>725</b>	株主資本		<b>80,633</b>	<b>91,648</b>	<b>86,716</b>
投資その他の資産		9,652	9,120	10,795	資本金		33,239	33,239	33,239
その他		9,724	9,151	10,819	資本剰余金		21,328	21,328	21,328
貸倒引当金		△72	△30	△24	利益剰余金		47,514	58,536	53,602
<b>資産合計</b>		<b>112,119</b>	<b>123,515</b>	<b>124,829</b>	自己株式		△21,449	△21,455	△21,454
					その他の包括利益累計額		55	△182	△1,295
					その他有価証券評価差額金		138	124	139
					為替換算調整勘定		214	△27	△1,142
					退職給付に係る調整累計額		△298	△279	△292
					<b>純資産合計</b>		<b>80,689</b>	<b>91,465</b>	<b>85,421</b>
					<b>負債純資産合計</b>		<b>112,119</b>	<b>123,515</b>	<b>124,829</b>

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	当中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高		33,729	43,327	94,515
売上原価		20,547	24,657	59,895
<b>売上総利益</b>		<b>13,181</b>	<b>18,669</b>	<b>34,619</b>
販売費および一般管理費		8,179	8,161	18,582
<b>営業利益</b>		<b>5,001</b>	<b>10,508</b>	<b>16,037</b>
営業外収益		125	682	219
受取利息		26	51	58
受取配当金		7	8	14
為替差益		54	565	—
その他		36	57	145
営業外費用		110	892	1,002
支払利息		53	41	103
支払手数料		32	34	64
割増退職金		—	634	112
事務所移転費用		—	165	254
為替差損		—	—	407
その他		24	17	59
<b>経常利益</b>		<b>5,016</b>	<b>10,297</b>	<b>15,254</b>
特別損失		64	418	104
固定資産除売却損		64	19	104
減損損失		—	398	—
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>		<b>4,952</b>	<b>9,879</b>	<b>15,149</b>
法人税等合計		1,471	3,030	4,212
法人税、住民税および事業税		1,218	1,440	4,617
法人税等調整額		252	1,589	△405
中間(当期)純利益		3,481	6,849	10,937
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益		3,481	6,849	10,937

表紙の説明 「ロックマン」シリーズ30周年

「ロックマン」シリーズは、ファミリーコンピュータ向けアクションゲームとして1987年に第1作を発売以来、累計販売本数3,200万本(2018年6月30日時点)を誇る当社主力ブランドのひとつです。

キャラクターのルックスと、それに反する硬派なゲーム性が支持を受け、多数の派生作品を含め、発売から30年を経た今なお若年層からコアユーザーまで根強い人気を獲得しています。また、そのブランドはゲーム作品にとどまらず、キャラクターグッズ、コミック、TVアニメや映画など、グローバルで多彩なメディアに展開されています。

本年10月に同シリーズ最新作「ロックマン11 運命の歯車!!」を発売いたしました。



中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (2017年4月1日から 2017年9月30日まで)	当中間期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		6,908	6,325	34,721
投資活動による キャッシュ・フロー		△1,658	△1,089	△2,847
財務活動による キャッシュ・フロー		△7,229	△2,867	△9,577
現金および現金同等物 に係る換算差額		730	1,055	△96
現金および現金同等物 の増減額		△1,249	3,423	22,201
現金および現金同等物 の期首残高		24,337	46,539	24,337
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高		23,088	49,963	46,539

財務ハイライト  
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報  
会社データ



会社の概要 (2018年9月30日現在)

社名 株式会社 **カプコン**  
(CAPCOM CO., LTD.)  
設立 1979年5月30日  
創業 1983年6月11日  
本社所在地 大阪市中央区平野町三丁目1番3号  
主要な事業内容 家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営  
資本金 332億39百万円  
従業員数 連結2,929名(単体2,556名)  
ホームページ <http://www.capcom.co.jp/>

株式の状況 (2018年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式の総数 135,446,488株
- 株主数 13,502名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社 クロロード	12,748	11.64
辻本美之	4,038	3.69
辻本憲三	4,018	3.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,919	3.58
ジーピーエルがチエースオツベハイマー ジャストツクレンジング アカウ	3,520	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,474	3.17
ピーエヌワイエム アズエーティクライアソツ 10 パーセント	3,264	2.98
辻本春弘	3,098	2.83
辻本良三	3,091	2.82
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505001	1,980	1.81

(注) 持株比率については、自己株式数(25,957千株)を控除して算出しております。

取締役および監査等委員である取締役 (2018年9月30日現在)

代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO) 辻本 憲三  
代表取締役社長  
社長執行役員  
最高執行責任者(COO) 辻本 春弘  
取締役  
専務執行役員 江川 陽一  
取締役  
専務執行役員 野村 謙吉  
取締役  
専務執行役員 根尾 邦男  
取締役 佐藤 正夫  
取締役 村中 徹  
取締役 水越 豊  
取締役  
(常勤監査等委員) 平尾 一氏  
取締役  
(常勤監査等委員) 岩崎 吉彦  
取締役  
(監査等委員) 松尾 眞

(注) 取締役 佐藤正夫、村中 徹、水越 豊、岩崎吉彦および松尾 眞の各氏は、社外取締役であります。また、社外取締役5名全員は株式会社東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

カプコンIRサイトのご案内 <http://www.capcom.co.jp/ir/>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者へのインタビューやアナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて評価機関より高い評価をいただいております。



**IRトピックス**  
いま注目すべきIR活動をメインビジュアルで視覚的に告知することに加え、最新情報が素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

**個人投資家の皆様へ**  
当社をより深くご理解いただけるよう、カプコンの強みや事業内容などをわかりやすくご説明しております。

**ソーシャルメディア CAPCOM IR 公式アカウント**  
TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを通じて、プレスリリースや新聞・テレビでのメディア掲載情報などを発信しております。

**IRアプリ「カプコンIR(iOS/Android)」**  
株価情報や最新ニュースリリース、決算発表等の最新IR情報をお届けするスマートフォン向けアプリケーションです。資料の閲覧や保存など簡単な画面操作でご利用いただけます。  
<http://www.capcom.co.jp/ir/mobile/apps.html>

**『統合報告書 2018』発行**  
当社の「統合報告書」は、株主・投資家ならびにステークホルダーの皆様へ、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えし、更なる対話のきっかけになることを目指して発行しております。また、シンプルでわかりやすい表現を目指し、重要な項目について視覚的に内容が理解できるように工夫しました。  
ご希望の方は当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。  
株式会社カプコン 広報IR室 電話06-6920-3623

財務ハイライト  
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報  
会社データ

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主日	3月31日
中間配当金受領株主日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社のホームページ( <a href="http://www.capcom.co.jp/">http://www.capcom.co.jp/</a> )に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所



**JPX-NIKKEI 400**

2018 年度選定

当社は、株式会社日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所および株式会社日本経済新聞社が共同で開発した株価指数である「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定されています。

### ■ ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

**CAPCOM**



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しております。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。